



東陽の旋風^{かぜ} ～自律貢献～

令和6年3月1日（金）No.4 1発行
文責：松本 卓也

教師修養 第12弾 ～主体的な学びにいざなう授業とは？～

28日（水）、八代市教育委員会のJ指導主事および東陽小学校の先生方をお招きして、2年理科、1年社会で授業公開を行いました。この授業公開は、8日（水）に行った小中合同校内研修の今年度の総括を受け、授業改善に積極的に取り組んでいるS先生、M先生の授業を皆で参観し、これからの授業づくりに役立ていくことを目的にしています。「課題提示」→「自力解決」→「交流の時間」→「全体解決」→「まとめ」と、授業がテンポ良く流れ、課題である「振り返り」と「定着確認の徹底」も学習者用タブレット端末を活用して行っていました。活動中は、学習リーダーが授業を進め、教師は支援に徹する姿に、J指導主事も、「2人の先生が、ほとんど喋らないのがいいですね。」と感心されていました。かたらんねTIMEでは、



- 主体的に学ぶ時間を確保するために、話し合いの延長はしない
- できるところでジクソー法を取り入れる（取り組まざるを得ない状況をつくり出す）
- つなげる言葉で子どもたちの思考を深めていく
- 「振り返り」は次の学びにつなげるために、絶対必要
- 定着確認を必ず行う



等々、小中学校で共通してできること語り合いました。J指導主事からは、子どもを「学び」の主体者にするために①タイムマネジメント、②授業の流れのシステム化、単元構想、③他者参照・交流の視点でご感想をいただきました。特に、“「学び方」や「進め方」、「教具」等の選択肢を増やす意識が大切であること、「他者参照」は授業改善の第一歩”等、未来の授業づくりを進めていく上で、大きな示唆をいただきました。今後、小・中学校で共通実践を積み重ねていきたいと思えます。来週5日（火）には、中学校職員、生徒が小学校にお邪魔して「toyo 寺子屋」を行う予定です。校種の枠を超えて、東陽っ子の「育ち」と「学び」の適時性と連続性を重視した指導の展開へ。9年間を見通した小中一貫・連携教育を進めてまいります。J指導主事、お忙しい中、ご参観いただきありがとうございます。

【編集後記】学校評価アンケート、ありがとうございました。

▼学校評価アンケート（下期）のご協力、ありがとうございました。▼学校評価（教職員、生徒、保護者）の結果を別紙にて配布しております。ご確認ください。（学校HPでは数値結果も併せて公開しています。）▼今後の学校運営に生かしていきたいと考えております。大変、お世話になりました。



結果の分析	教職員	上期から改善しましたが、規則的な生活習慣の定着がまだまだ不十分と捉えています。また、5年後、10年後のなりたい自分をイメージできるようなキャリア教育の充実が課題です。
	生徒	東陽町文化の祭典で、「箱石銭太鼓踊り」、「坂より上棒踊り」、「石匠太鼓」を4年振りに観客を前に披露させていただいたことで、伝統文化学習が自身の学びや成長につながることを実感していることがわかりました。課題として、学習習慣の育成および生活習慣の定着を挙げています。
	保護者	上期同様、多くの項目で高い評価をいただきました。ご理解とご支援に感謝しております。課題として、情報通信機器の使い方や規則的な生活習慣の定着が、下期も挙げられています。
今後の対策	共通した課題である「生活習慣の定着」を図るため、原因となっている情報通信機器の正しい使い方をご家庭および生徒会と連携しながら、「toyoいきいきウィーク」等の取り組みをさらに充実させていきたいと考えております。今後とも、保護者の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。	

▼なお、アンケート結果についてのお尋ね等ありましたら、学校までご連絡ください。

※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）